

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日
東

上場会社名 ムトー精工株式会社 上場取引所
コード番号 7927 URL <https://www.muto.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 肇
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 金子 貞夫 (TEL) 058(371)1100
定時株主総会開催予定日 2021年6月24日 配当支払開始予定日 2021年6月25日
有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	19,230	△7.7	1,144	5.8	1,068	△8.6	288	△54.0
2020年3月期	20,831	△11.0	1,081	12.3	1,169	2.3	626	—

(注) 包括利益 2021年3月期 1,071百万円(—%) 2020年3月期 84百万円(△15.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	40.13	—	2.5	4.8	6.0
2020年3月期	87.16	—	5.6	5.3	5.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	23,136	12,741	51.9	1,671.50
2020年3月期	21,290	11,840	52.5	1,555.86

(参考) 自己資本 2021年3月期 12,012百万円 2020年3月期 11,181百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,994	△1,593	△175	6,913
2020年3月期	2,303	△1,303	△956	6,414

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	8.00	—	9.50	17.50	125	20.1	1.1
2021年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00	143	49.8	1.2
2022年3月期(予想)	—	8.00	—	13.00	21.00		25.2	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	4.0	900	△21.4	900	△15.8	600	108.0	83.49

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	7,739,548株	2020年3月期	7,739,548株
② 期末自己株式数	2021年3月期	552,909株	2020年3月期	552,784株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	7,186,727株	2020年3月期	7,186,764株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	7,225	△11.6	92	104.1	796	101.4	792	119.6
2020年3月期	8,171	△0.6	45	—	395	△1.6	360	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	110.24		—					
2020年3月期	50.19		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年3月期	13,834		5,728		41.4	797.09		
2020年3月期	13,092		5,043		38.5	701.81		

(参考) 自己資本 2021年3月期 5,728百万円 2020年3月期 5,043百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概要（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	16
(継続企業の前提に関する注記)	16
(セグメント情報等)	16
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、消費の落ち込みに加え、企業業績や雇用環境の悪化が見られ、減速傾向にあります。また、緊急事態宣言の解除や経済対策が実施されたものの、度重なる感染の再拡大に伴い、経済活動の制限や外出自粛要請が行われるなど、厳しい状況が続いております。

世界経済におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大により、各国の経済は低迷いたしました。一方、感染拡大防止策の緩和や新型コロナウイルスワクチンの実用化を背景に、先進国を中心に景気は持ち直しつつありますが、感染の再拡大やワクチン接種の遅延等が懸念されており、先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く業界においても、新型コロナウイルスの感染拡大による影響は大きく、全般的に需要は減少しております。自動車関連では、各自動車メーカーで工場の稼働停止や減産が行われ、世界的に生産・販売台数が減少いたしました。家電分野では、感染拡大防止策の実施に伴う経済活動の制限を背景に、国内外で需要が落ち込みました。一方、テレワークや在宅勤務の増加により、電子ペンやプリンターなど一部では一定の需要を維持しております。医療機器関連では、各国における経済活動の制限に影響を受けつつも、健康志向の増加に伴う医療ニーズの高まりを背景に、需要は底堅く推移いたしました。

このような経済環境の中、当社グループにおきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、当第1四半期では取引先からの受注が大幅に減少いたしました。その後、一時的に受注の回復が見られたものの、通期の売上高は減少いたしました。その結果、当連結会計年度における業績は、売上高は192億3千万円と前年同期と比べ16億円(7.7%)の減収、営業利益は固定費の削減などにより11億4千4百万円と前年同期と比べ6千2百万円(5.8%)の増益、経常利益は受取利息の増加および為替差損の計上などにより10億6千8百万円と前年同期と比べ1億1百万円(8.6%)の減益となりました。また、連結子会社であるハントンスプリングインダストリーズSDN. BHD. の解散及び清算に伴い発生した関係会社整理損4億3千7百万円の計上などにより、親会社株主に帰属する当期純利益は2億8千8百万円と前年同期と比べ3億3千7百万円(54.0%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、テレワークや在宅勤務の増加などを背景に、電子ペン部品の売上高は好調に推移しております。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大により、多数の取引先からの受注が減少し、プラスチック成形事業全体では減収・減益となりました。その結果、当連結会計年度において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて180億1千5百万円と前年同期と比べ13億5千万円(7.0%)の減収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は12億4千4百万円と前年同期と比べ4千8百万円(4.1%)の増益となりました。

② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、医療機器と電子ペン部品の売上高は堅調に推移いたしました。一方、デジタルカメラ関係部品の売上高は、市場の縮小や半導体の供給不足の影響で大幅な減収が続いております。その結果、当連結会計年度において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて10億1千6百万円と前年同期と比べ2億3千4百万円(18.7%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は1億2千5百万円(前年同期はセグメント損失(営業損失)1億3千5百万円)となりました。

③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う受注減少により、設計業務の売上高は減収となりましたが、経費の削減に取り組むなど、利益の確保に努めました。また、パッケージ基板の受注は回復しつつあります。検査部門では、付加価値を付けた特殊基板の受注が増加し、売上高も好調に推移いたしました。その結果、当連結会計年度において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて2億6千8百万円と前年同期と比べ2千2百万円(7.8%)の減収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は2千5百万円と前年同期と比べ3百万円(18.3%)の増益となりました。

当社グループの事業の種類別セグメント売上高

事業部門	前連結会計年度		当連結会計年度		前期比増減(△)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減(△)率
プラスチック成形事業	百万円 19,341	% 92.8	百万円 17,998	% 93.6	百万円 △1,343	% △6.9
精密プレス部品事業	1,200	5.8	963	5.0	△236	△19.7
プリント基板事業	289	1.4	268	1.4	△21	△7.3
合計	20,831	100.0	19,230	100.0	△1,600	△7.7

(注) 売上高については、セグメント間の内部取引消去後の数値を記載しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(連結財政状態)

(百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増 減
総 資 産	21,290	23,136	1,846
純 資 産	11,840	12,741	901
自 己 資 本 比 率	52.5	51.9	—

(流動資産)

当連結会計年度の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ18億7千7百万円増加し、156億4千6百万円となりました。現金及び預金が6億2百万円、受取手形及び売掛金が2億2千7百万円、有価証券が7億2千7百万円、商品及び製品が2億2千1百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

(固定資産)

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3千1百万円減少し、74億9千万円となりました。有形固定資産が1億6百万円減少し、退職給付に係る資産が6千1百万円増加したことなどが主な要因です。

(流動負債)

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ12億4千7百万円増加し、73億6千3百万円となりました。支払手形及び買掛金が2億2千6百万円、短期借入金が4億円、関係会社整理損失引当金が3億5百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

(固定負債)

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3億2百万円減少し、30億3千1百万円となりました。長期借入金が4億5千1百万円減少し、固定負債(その他)が1億円増加したことなどが主な要因です。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ9億1百万円増加し、127億4千1百万円となりました。利益剰余金が1億6千2百万円、為替換算調整勘定が6億4千9百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(連結キャッシュ・フローの状況)

(百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,303	1,994	△308
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,303	△1,593	△290
財務活動によるキャッシュ・フロー	△956	△175	781
現金及び現金同等物の期末残高	6,414	6,913	499

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は69億1千3百万円と前連結会計年度末と比べ4億9千9百万円(7.8%)の増加となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前当期純利益6億7百万円(前連結会計年度は税金等調整前当期純利益11億2千4百万円)、非資金費用である減価償却費12億7百万円、仕入債務の増加額1億5千4百万円、関係会社整理損失引当金の増加額3億5百万円及び法人税等の支払額2億9千万円等により、営業活動全体として19億9千4百万円の収入となり、前連結会計年度と比べ収入が3億8百万円(13.4%)の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、定期預金の預入による支出7億7千2百万円、有価証券の純増額6億7千5百万円、有形固定資産の取得による支出9億2百万円及び定期預金の払戻による収入6億6千8百万円等により、投資活動全体として15億9千3百万円の支出となり、前連結会計年度と比べ支出が2億9千万円(22.3%)の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、長期借入金の返済による支出14億2千3百万円、配当金の支払額1億2千5百万円及び短期借入金の純増額4億円、長期借入れによる収入10億円等により、財務活動全体として1億7千5百万円の支出となり、前連結会計年度と比べ支出が7億8千1百万円(81.7%)の減少となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	46.0	48.9	48.8	52.5	51.9
時価ベースの自己資本比率(%)	16.5	37.6	18.2	13.4	21.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	4.8	2.9	2.3	2.6	3.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	25.4	33.8	95.0	74.7	66.3

自己資本比率 : (純資産－非支配株主持分) / 総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債 / キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー / 利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

(注3) キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、全世界的な減速傾向が続くものと思われれます。また、各国における感染拡大防止策の緩和や新型コロナウイルスワクチンの接種開始に伴い、経済活動は再開されつつありますが、感染の再拡大が各国で見られており、今後も一定の経済活動の制限が続く可能性があります。また、当社グループで増収傾向にある自動車業界は、開発スピードの加速や参入企業の増加に加え、販売価格の引き下げ要求が厳しくなっており、更なる競争の激化が見込まれます。カメラ部品につきましては、引き続き東京オリンピックまでの新規の需要を見込んでおりますが、先行きは不透明であります。

このような状況の中、当社グループは、柔軟な生産体制を構築し事業環境の変化に備えると同時に、顧客各社の動向を注視し着実な受注活動を行い、新型コロナウイルスの感染拡大による影響に対応していく所存であります。

次期(2022年3月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高200億円、営業利益9億円、経常利益9億円、親会社株主に帰属する当期純利益6億円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,777,546	7,379,691
受取手形及び売掛金	3,189,600	3,416,849
電子記録債権	534,005	642,540
有価証券	—	727,319
商品及び製品	696,611	918,175
仕掛品	965,295	978,547
原材料及び貯蔵品	1,239,252	1,213,611
未収入金	184,488	195,397
その他	182,943	175,856
貸倒引当金	△1,300	△1,825
流動資産合計	13,768,444	15,646,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,249,224	2,159,168
機械装置及び運搬具（純額）	2,832,968	2,578,047
土地	1,148,758	1,163,269
リース資産（純額）	2,445	110,691
建設仮勘定	102,941	120,351
その他（純額）	562,930	660,950
有形固定資産合計	6,899,268	6,792,479
無形固定資産		
231,233		211,395
投資その他の資産		
投資有価証券	146,428	166,020
退職給付に係る資産	90,093	151,651
繰延税金資産	3,409	4,150
その他	154,302	167,449
貸倒引当金	△2,885	△2,767
投資その他の資産合計	391,348	486,504
固定資産合計	7,521,850	7,490,379
資産合計	21,290,294	23,136,546

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,795,252	2,022,203
短期借入金	2,150,000	2,550,000
1年内返済予定の長期借入金	1,292,396	1,319,642
未払法人税等	75,160	58,245
賞与引当金	195,082	192,624
関係会社整理損失引当金	—	305,931
その他	608,490	914,950
流動負債合計	6,116,381	7,363,597
固定負債		
長期借入金	2,660,946	2,209,840
繰延税金負債	263,447	282,296
役員退職慰労引当金	158,178	164,833
退職給付に係る負債	239,619	261,993
その他	11,580	112,295
固定負債合計	3,333,771	3,031,258
負債合計	9,450,153	10,394,856
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,246,168	2,246,168
利益剰余金	8,411,296	8,573,937
自己株式	△397,883	△397,961
株主資本合計	12,448,541	12,611,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20,279	△1,294
為替換算調整勘定	△1,246,692	△597,321
その他の包括利益累計額合計	△1,266,972	△598,615
非支配株主持分	658,572	729,201
純資産合計	11,840,141	12,741,690
負債純資産合計	21,290,294	23,136,546

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	20,831,229	19,230,260
売上原価	16,932,873	15,556,342
売上総利益	3,898,355	3,673,918
販売費及び一般管理費		
発送運賃	614,096	623,488
報酬及び給料手当	1,037,551	978,558
賞与引当金繰入額	73,562	63,465
退職給付費用	29,532	26,645
役員退職慰労引当金繰入額	13,260	13,220
福利厚生費	185,618	176,767
消耗品費	122,436	97,810
減価償却費	81,794	79,089
地代家賃及びリース料	106,314	100,757
保険料	16,682	16,832
租税公課	114,642	63,893
交際費	19,700	9,174
その他	401,521	279,591
販売費及び一般管理費合計	2,816,715	2,529,296
営業利益	1,081,640	1,144,622
営業外収益		
受取利息	93,041	66,083
受取配当金	5,468	5,721
助成金収入	—	35,920
その他	28,213	18,115
営業外収益合計	126,723	125,841
営業外費用		
支払利息	30,400	29,596
為替差損	7,729	170,404
その他	381	1,760
営業外費用合計	38,511	201,761
経常利益	1,169,853	1,068,702
特別利益		
固定資産売却益	2,173	6,083
補助金収入	—	85,328
特別利益合計	2,173	91,411
特別損失		
固定資産売却損	—	11,286
固定資産除却損	1,117	18,368
投資有価証券評価損	13,319	—
和解金	15,836	—
減損損失	16,973	71
固定資産圧縮損	—	85,328
関係会社整理損	—	437,812
特別損失合計	47,247	552,866
税金等調整前当期純利益	1,124,779	607,247

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
法人税、住民税及び事業税	281,212	253,424
過年度法人税等	173,499	—
法人税等調整額	1,061	17,734
法人税等合計	455,773	271,159
当期純利益	669,005	336,087
非支配株主に帰属する当期純利益	42,641	47,678
親会社株主に帰属する当期純利益	626,363	288,409

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	669,005	336,087
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,642	18,985
為替換算調整勘定	△577,752	716,113
その他の包括利益合計	△584,395	735,098
包括利益	84,610	1,071,186
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	93,128	956,765
非支配株主に係る包括利益	△8,518	114,420

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,188,960	2,246,168	7,899,921	△397,883	11,937,166
当期変動額					
剰余金の配当			△114,988		△114,988
親会社株主に帰属する当期純利益			626,363		626,363
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	511,375	—	511,375
当期末残高	2,188,960	2,246,168	8,411,296	△397,883	12,448,541

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△13,636	△720,100	△733,737	688,524	11,891,953
当期変動額					
剰余金の配当			—		△114,988
親会社株主に帰属する当期純利益			—		626,363
自己株式の取得			—		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△6,642	△526,592	△533,234	△29,952	△563,187
当期変動額合計	△6,642	△526,592	△533,234	△29,952	△51,812
当期末残高	△20,279	△1,246,692	△1,266,972	658,572	11,840,141

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,188,960	2,246,168	8,411,296	△397,883	12,448,541
当期変動額					
剰余金の配当			△125,768		△125,768
親会社株主に帰属する当期純利益			288,409		288,409
自己株式の取得				△77	△77
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	162,640	△77	162,563
当期末残高	2,188,960	2,246,168	8,573,937	△397,961	12,611,104

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△20,279	△1,246,692	△1,266,972	658,572	11,840,141
当期変動額					
剰余金の配当			—		△125,768
親会社株主に帰属する当期純利益			—		288,409
自己株式の取得			—		△77
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	18,985	649,371	668,356	70,628	738,985
当期変動額合計	18,985	649,371	668,356	70,628	901,548
当期末残高	△1,294	△597,321	△598,615	729,201	12,741,690

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,124,779	607,247
減価償却費	1,140,605	1,207,308
減損損失	16,973	71
訴訟関連損失	15,836	—
有形固定資産除却損	1,117	18,368
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△150	525
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,368	△7,034
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	13,260	6,655
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	15,050	15,611
受取利息及び受取配当金	△98,510	△71,805
支払利息	30,400	29,596
投資有価証券評価損益 (△は益)	13,319	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2,173	5,202
売上債権の増減額 (△は増加)	582,242	△203,207
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△8,728	△93,173
仕入債務の増減額 (△は減少)	△313,054	154,368
未払消費税等の増減額 (△は減少)	76,305	△18,678
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	—	305,931
補助金収入	—	△85,328
固定資産圧縮損	—	85,328
その他	123,847	284,011
小計	2,714,753	2,240,997
利息及び配当金の受取額	98,617	71,891
利息の支払額	△30,829	△30,093
法人税等の支払額	△491,953	△290,058
法人税等の還付額	29,215	2,248
訴訟和解金の支払額	△15,836	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,303,968	1,994,986
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△473,905	△772,511
定期預金の払戻による収入	417,822	668,771
有価証券の純増減額 (△は増加)	—	△675,923
有形固定資産の取得による支出	△1,211,031	△902,170
有形固定資産の売却による収入	3,729	6,886
無形固定資産の取得による支出	△48,648	△13,542
補助金の受取額	—	85,328
その他	8,664	9,614
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,303,368	△1,593,547
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△650,000	400,000
長期借入れによる収入	1,200,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,349,556	△1,423,860
自己株式の取得による支出	—	△77
配当金の支払額	△114,940	△125,453
非支配株主への配当金の支払額	△29,881	△21,378
その他	△12,105	△4,357
財務活動によるキャッシュ・フロー	△956,483	△175,126

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△270,320	272,692
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△226,204	499,004
現金及び現金同等物の期首残高	6,640,617	6,414,412
現金及び現金同等物の期末残高	6,414,412	6,913,417

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、プラスチック成形事業、精密プレス部品事業及びプリント基板事業の3つの事業ユニットを基本にして組織が構成されており、各事業ユニット単位で、日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、「プラスチック成形事業」、「精密プレス部品事業」及び「プリント基板事業」の3つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「プラスチック成形事業」は、プラスチック成形用金型及びプラスチック精密部品の製造・販売、各種設計業務並びに技術支援等のサービス業務を、「精密プレス部品事業」は、音響機器、映像機器、光学機器、コンピュータ関連機器等の精密プレス部品の製造・販売を、「プリント基板事業」は、プリント配線基板の設計・検査・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	連結 財務諸表 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,341,548	1,200,462	289,217	20,831,229	—	20,831,229
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,317	50,358	1,560	76,236	△76,236	—
計	19,365,866	1,250,821	290,777	20,907,465	△76,236	20,831,229
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,195,214	△135,404	21,829	1,081,640	—	1,081,640
セグメント資産	18,935,246	1,719,733	813,542	21,468,522	△178,227	21,290,294
セグメント負債	9,338,053	142,569	147,757	9,628,380	△178,227	9,450,153
その他の項目						
減価償却費	1,108,365	18,371	13,869	1,140,605	—	1,140,605
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	870,391	10,324	15,547	896,263	—	896,263
減損損失	—	—	—	16,973	—	16,973

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

2. セグメント資産及びセグメント負債の調整額△178,227千円は、セグメント間の債権債務消去であります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	連結 財務諸表 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,998,417	963,679	268,163	19,230,260	—	19,230,260
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,320	52,644	—	69,964	△69,964	—
計	18,015,737	1,016,324	268,163	19,300,225	△69,964	19,230,260
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,244,006	△125,202	25,818	1,144,622	—	1,144,622
セグメント資産	20,861,795	1,633,121	826,198	23,321,115	△184,569	23,136,546
セグメント負債	9,845,685	591,327	142,413	10,579,425	△184,569	10,394,856
その他の項目						
減価償却費	1,182,438	11,586	13,283	1,207,308	—	1,207,308
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	917,644	1,282	12,141	931,069	—	931,069
減損損失	—	71	—	71	—	71

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

2. セグメント資産及びセグメント負債の調整額△184,569千円は、セグメント間の債権債務消去であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,555円86銭	1,671円50銭
1株当たり当期純利益	87円16銭	40円13銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	626,363	288,409
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る 親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	626,363	288,409
普通株式の期中平均株式数(株)	7,186,764	7,186,727

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	11,840,141	12,741,690
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	658,572	729,201
(うち非支配株主持分(千円))	(658,572)	(729,201)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	11,181,569	12,012,488
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	7,186,764	7,186,639

(重要な後発事象)

該当事項はありません。